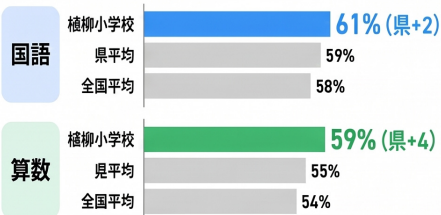


令和8年度 全国学力・学習状況調査：植柳小学校の現状と課題

【学力分析】全国・県平均を上回る安定した正答率

国語・算数ともに県・全国平均を突破



算数の正答率が県平均より4ポイント高い

算数において県平均（55%）を大きく引き離す59%という結果が出ており、本校の強みとなっています。

【意識調査：強み】高い自己肯定感と圧倒的な学習意欲



「算数の勉強が好き」と答えた児童は92%に達し、全国平均（57.6%）を大幅に上回っています。



自己肯定感：

全員が「自分にはよいところがある」

「自分にはよいところがある」「先生がよいところを認めてくれている」という項目で100%の肯定回答を得ており、良好な自己肯定感と信頼関係が構築されています。



先生への信頼と授業への満足度

「先生が分かるまで教えてくれる」との回答も96%（全国比+9）と高く、手厚い指導体制が評価されています。

【意識調査：課題】表現力と主体的な学びへの挑戦



将来の夢や目標の保持が全国平均を下回る

将来の夢を持っている児童（80%）や人の役に立ちたいと思う児童（92%）は、全国平均より数ポイント低い傾向にあります。



「伝える工夫」に-14.4ポイントの大きなギャップ

自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章を工夫する項目（52%）は、全国平均（66.4%）を大きく下回っています。

「自分で学びを工夫する」主体性の育成が鍵



分からない時の学び方の工夫（76%）が全国比で-3.4%となっており、自走する学習習慣の支援が今後のテーマです。

Gemini Notebook

いずかし

「自主、自立、自信」子供の「できた！」を見守る伴走者

R8.9月8日 19号

文責：園田

令和8年度 全国学力・学習状況調査正答率と質問紙

ポルト環境が、皮肉にも児童側の「手厚い指導への依存（自分で学び方を工夫しないマイナス3.4ポイント）」を生み、かつ話し合いを深めた後の「他者へうまく伝わるよう構成して発表す

た。しかし、その手厚いサポート環境が、皮肉にも児童側の「手厚い指導への依存（自分で学び方を工夫しないマイナス3.4ポイント）」を生み、かつ話し合いを深めた後の「他者へうまく伝わるよう構成して発表す

るスキル（マイナス14.4ポイント）の獲得にまで至っていないという課題が見えてきました。今後の改善においては、授業を「教授型」から「児童が自ら学び方を考え、表現する（能動的探究）」へと段階的にシフトさせていくことが重要と考えます。例えば、主体的に学ぶ姿勢を育てるため、学び方を自分で選択させる方法を用いたり、「どうやって調べるか（本・タブレット・自力・友達との協働）」や「どんなスタイルで進めるか（一人学び・ペア学習・聞き取り等）」を授業開始時に自ら意思決定）させたりしていきます。自分で選択した方法であれば、最後まで主体的に解決しようとする「自己調整力」も育つのではないかと考えています。

四月に六年生対象に行った全国学力・学習状況調査の結果は、正答率において国語、算数ともに県と全国平均を上回る結果となりました。これは、昨年までの課題であった国語科の「読むこと」及び「書くこと」の指導に重点を置いて、校内研修を重ねてきた結果の表れと考えています。「読み解く力」の育成に重点を置いた今年度はさらに、子どもたちの力を伸ばすための方策を研究していきます。また、児童質問紙では、「自分にはよいところがある（100%）」「先生は自分のよいところを認めてくれる（100%）」「先生は分かるまで教えてくれる（96%）」という、極めて良好な自己肯定感と先生との信頼関係に支えられています。しかも2年続けてこの結果でした。



授業に集中する6年生

植柳小県・全国値を上回る（全学調結果）



大プールの底を掃除する子どもたち

そこで9月4日（金）にプール掃除を行いました。せめて天気がいよいよ進められたのですが、台風の影響なのか、あいにく朝から雨が降る中での作業となりました。濡れた体での作業は、体も冷えて大変だったと思いますが、六年生の子どもたちは植柳小の水泳授業開始に向けて一所懸命がんばってくれました。高学年のみなさん、綺麗にしてくれてありがとうございます。

異常な暑さに見舞われたこの夏でしたが、9月に入ってからと気温は平年並みになってきました。地震直後は、学校の水がなくなりましたが、今年度の水泳の授業は不可能かと思いましたが、8月末に出るようになり、水質検査結果も良好ということになり、無事に水泳指導が可能になりました。

プール掃除完了！